

平成 26 年 10 月 6 日

各 位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
(JASDAQ・コード3174)
代表者名 代表取締役社長 田 泰夫
問合せ先 取締役経営企画室長 追川正義
電話番号 03-3562-7525

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 10 月 11 日に公表した平成 26 年 8 月期（平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 8 月期 通期業績予想の修正（平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,158	百万円 610	百万円 575	百万円 315	円 銭 124.50
今回修正予想 (B)	17,202	445	411	201	79.45
増減額 (B-A)	△955	△165	△163	△113	—
増減率 (%)	△5.2	△27.0	△28.4	△36.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 8 月期)	16,536	600	558	300	118.76

2. 修正の理由

平成 26 年 8 月期の業績につきましては、上半期における急激な円安の進行により、仕入価格の上昇と粗利率の低下を招いたこと、3 月度に消費税率引上げに伴う駆け込み需要があったものの、その後の反動減や消費マインドの低下による影響が続いたこと、記録的大雪や集中豪雨による客数減少が少なからずあったこと等により、売上高及び売上総利益が計画を下回って推移いたしました。下半期においては、商品価格帯の見直しを図り、値ごろ感のある商品の拡充と客数アップへの取り組みを強化することで、収益性の改善に努めるとともに、業務の効率化による販管費削減に努めてまいりました。しかし、当初予想との比較では、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益がそれを下回る見込みとなりました。

また、韓国の子会社（非連結）につきまして、初期投資・運営費等により損失が発生していることから、事業計画においてはその改善を見込んでいるものの、財務の健全性の観点から投資損失引当金 1,869 万円を特別損失として計上することといたしました。

以上の理由により、平成 26 年 8 月期の業績予想を修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、これら予想数値とは異なる可能性があります。

以 上